

広域交流型オンライン学習・中学校（5月）

～地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方とは何か、それをどのように働かせることができるか～

広島大学 草原和博・金鍾成

1. 概要

新学習指導要領の大きな軸になっている見方・考え方であるが、その定義の曖昧さのゆえに、何をどのように教えて学ば良いのかも不明瞭な状況である。そこで、子どもが社会科における見方・考え方の具体を把握し、それを働かせる方法を提案するオンライン遠隔授業を行う。

5月には、歴史的な見方・考え方、地理的な見方・考え方を主に取り上げる。授業はT1（金、草原）の進行と、T2（各校の授業者）の各学級での指導で展開する。機器の操作は大学院生や本市 ICT 支援員がサポートする。

2. 授業内容

○「見方・考え方」とは？ 追求の視点（＝レンズ＝問い）や方法（手続き的知識）

○「地理的な見方・考え方」＝「地理する Doing Geography」ための視点や方法

（代表例）どこか（位置）

そこには、何があるか（場所）

そこにあるものには、どのような関係にあるか（人間と環境の相互作用）

そこにあるものは、他の場所とどのように結びついているか（移動）

そこはどのようなところか。どのように変わってきており、どのように変わっていくか（地域）

○「歴史的な見方・考え方」＝「歴史する Doing History」ための視点や方法

（代表例）いつか（時期・年代）

それは、どのように変わってきたか（変化）

それらの出来事は、何が似ていて、何が違うか（類似と差異、比較）

その出来事は、他の出来事とどのような関係にあるか（相互の関連）

その出来事は、今にどういう影響を与えているだろう、今にどういう教訓を与えているだろう（現在とのつながり）

○「見方・考え方を働かせる」とは？

- ・社会的事象について問うこと
- ・社会的事象を捉えるための視点を問いにすること
- ・問いを探究，課題を解決すること

3. 見方・考え方を把握し、それを働かせる方法を教える授業のデザイン原則

- ① 日常的な私たちの社会の捉えのなかに隠されている見方・考え方に気づかせる。
- ② 見方・考え方を具体的に意味ある文脈で学習する体験を与える。
- ③ 見方・考え方を働かせる機会を設け、見方・考え方の機能や効果を実感させる。
- ④ 見方・考え方を自らメタ認知できるように、見える化・図式化する。

⑤ 見方・考え方を働かせる際には、地理的・歴史的・社会的な見方・考え方を総合的に活用する必要があることに気づかせる。

⑥ 授業を離れて、日常生活の場面でも見方・考え方を働かせるように支援する。

4. 日時および参加予定校

○日時：2023年5月24日（木）5時限目：13時40分～14時30分，6時限目：14時40分～15時30分

○参加予定校：東広島市内中学校の1年生（4校，5クラス，99名）

志和（44名：2クラス），福富（11名：1クラス），豊栄（19名：1クラス），河内（25名：1クラス）

5. 単元名および目標

○単元名：「社会の見方・考え方を学び，社会をより深く理解しよう！」

○広域交流型オンライン学習の目標

・見方・考え方を働かせると，社会をより深く理解できることに気づくことができる。

・位置，場所，人間と環境の相互作用，移動，地域などを代表例とする地理的な見方・考え方を理解し，実際に働かせることができる。

・時期・年代，変化，類似と差異：異なる時期・年代の比較，相互の関連，現在とのつながりなどを代表例とする歴史的な見方・考え方を理解し，実際に働かせることができる。

6. 授業展開（とくに黄色の箇所は，各クラス単位で活動していただきます）

T1（金・草原）の動き	予想される生徒の反応	T2（各学級の社会科担当者）の動き	ホスト（広大）と中継先の動き
<p>【導入：東広島市の水道料金は高い？】 ○事前アンケートの振り返り（5） ・5つのクラスがオンラインでつながって学習することの確認 ・事前に「東広島市は市外から水を買っている。なぜ？」の問いに答えてもらった。各クラスから1つずつ，予想を発表してもらおう。</p> <p>○見方・考え方の有用性の説明（5） ・黒瀬川の上流部にダムがない （位置，場所） ・東広島市の人口が増えた（変化） ・東広島市の三永水源地の水は，戦前に呉市が開発した（相互の関連） ・人々の需要（農業や工業，生活）に比べて，自然の供給（雨や川）が少ない（人間と環境の相互作用）</p>	<p>・山が多くて，水が集めにくいから ・浄水場が少ないから ・雨があまり降らないから ・ダムがあまりないから</p> <p>・なるほど，そんな見方もできるんだなあ。<u>私は気づかなかったなあ</u> ・いやいや，私はそういう見方でできていたよ。そんなの簡単だよ！</p> <p>・地理学者や歴史学者は，いろいろな見方・考え方を持っているんだね もしかすると，私たちには見えていないことが見えているのかな</p>	<p>・パソコンをネット接続させる。 ・ディスプレイの音声を調整する。 ・生徒のタブレットに，本日の授業の画面を表示させておく ・他のクラスに紹介したい予想を1つ選ぶ→発表者をカメラの前に着席させる</p> <p>・T1の解説を聞きながら（T1の解説の途中でも構わない）そういう見方・考え方ができた人はいないか，尋ねる（手を挙げさせてもよい） →できていたら，「すごいぞ！」と評価する</p>	<p>・T1と参加校との事前交流（挨拶，音声・カメラテスト）を支援 ・OP動画の再生（開始12分前） ・指名された学級をスポットライト</p>

【目標の提示】

社会の見方・考え方を学んで、(地理学者や歴史学者みたいに)社会をより深く理解しよう!

【展開1：地理的な見方・考え方】

○課題の提示 (15)

- 1 あなたが蕎麦屋を開くならば、どこに開きたいですか。(1)
- 2 この写真はどこだろう。分かるかな?(河内中の生徒皆さんはどうだろう?) (1)
- 3 動画と写真で「さわやか茶屋」について説明するよ (1)
- 4 「さわやか茶屋」について気になったことを問いに表現しよう。
 - ①まず個人で問いを考えて、Formに入力しよう (4)
 - ②クラスでどのような問いが出たかを確認しよう (4)
 - ③他のクラスと共有したい問いを3つ選ぼう (4)

○発表の省察→地理的な見方・考え方の習得 (10)

- 1 各クラスから出された生徒の素朴な問いを、**地理的な見方・考え方**の代表例に当てはめていくよ
→より洗練された**地理学者の問い**に置き換えていくよ
- 2 (代表例に当てはまる見方・考え方が示されない場合) T1 が代わりに問いを紹介するよ

- ・町のなか。お客さんが多いから
- ・交通が良いところ。お客さんが来やすいから
- ・おおお!これはどこだろう?
- ・もしかして、これは河内町の宇田地区の「さわやか茶屋」かな?
- ・へえー。人気のそば屋さんか。ネットの★も多いね。評判だね
- ・これはどこだろう (位置)
- ・河内駅から、どっちの方向へ、どのくらいのところにあるのだろう (移動)
- ・このそば屋は、いつごろできたのかな (時期・年代)
- ・周りには何があるのだろう、人は住んでいるのかな (場所)
- ・なんでこんなところに、評判のそば屋があるのだろう (位置)
- ・ここに、お客さんはどのくらい来るのかな (消費者, 需要)
- ・この周りの人口は、どのくらい減ったのだろう (変化)
- ・なんで30年前(1999年)にそば屋ができたのかな?地域の人口変化とどんな関係にあるのかな (相互の関連)
- ・昔と今では、建物の使い方には違いがあるのかな (類似と差異, 比較)
- ・料理=天ぶらの材料は何だろう。地元野菜かな (人間と環境の相互作用), それとも他の町から取り寄せているのかな (移動, 消費)
- ・お客さんはどこからきているのだろう?地元客が多い?働いている人はどこからきているかな? (移動, 消費者, 労働者)

- ・タブレットで【資料1】さわやか茶屋の航空写真、さわやか茶屋の建物・料理の写真を見せる
- ・生徒のタブレット操作を支援する

・問いを Google Form に入力させる **地理的な見方・考え方**に限定せずに、気になったことは遠慮せずに気軽に入力させる

・支援員の助力を得て、生徒の入力結果を大型ディスプレイ画面で眺める。結果をみながら、他の学校の生徒に紹介したい(とっておきの)問いを3つ選ぶ。選んだ問いは、支援員と協力して Jam Board に入力する。

・T1 が各クラスを指名→代表生徒がジャムボードに入力した問いを発表する

- ・T1が赤いキャップをかぶっている時には**地理学者の見方・考え方**にもとづいて話すことを強調する。
- ・生徒やT1の問いの中でどのような**地理的な見方・考え方**が使われているか、カードを使いながら、その都度確認していく

- ・資料の閲覧状況を確認する
- ・動画を再生する
- ・残り30秒のカウントダウン表示 (タイマー音は消す)
- ・各学級の入力結果を閲覧するためのURLをチャットに貼り付ける結果の閲覧をサポートする
- ・ジャムボードのURLをチャットに貼り付ける。T2の入力を支援する
- ・Jam Boardを共有する
- ・指名された学級をスポットライト
- ・カードの使い方をT2にアドバイスする。必要に応じてカードを差し出す(カードは黒板に貼っておくとよい)

<p>3 問いで使われている見方・考え方を短い概念やモデル図で紹介するよ</p> <p>4 見方・考え方を使いこなすことにはどんなメリットがあるのかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この字山って地区は、10年後はどうなっているだろう。そば屋は続いているかな (地域) ・見方・考え方を意識的に使うと、いろいろな問いが立てられるね ・新しい地理の世界が見えてくるね 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2 がカードを教室で持って回りながら、どのような見方・考え方が使われているかを確認する 	
<p>【展開2：歴史的な見方・考え方】</p> <p>○課題の提示 (15)</p> <p>1 私たちが授業を受けているこの教室にある黒板は、いつ頃から使われたと思いますか (1)</p> <p>2 この絵や写真は、共通に何を表しているだろう (1)</p> <p>3 「教室」の移り変わりについて説明するよ (1)</p> <p>4 「教室」の移り変わりについて気になったことを問いに表現しよう</p> <p>①まず個人で問いを考えて、Formに入力しよう (4)</p> <p>②クラスでどのような問いが出たかを確認しよう (4)</p> <p>③他のクラスと共有したい問いを3つ選ぼう (4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・50年前かな ・100年前かもしれないよ ・おおお、これは私たちがいる学校だね、私たちの教室と似ているぞ、いや違うぞ! ・これは、何時代の教室の絵・写真だろう? (時期・年代) ・教室を古い順に並べると、どうなるだろう (時期・年代) ・教室の子どもの数は、どう変わった? 増えた、減った (変化) ・教室が一気に「西洋化」したのは、どれとどれの間かな? 教室が一気に「ハイテク化」したのは、どれとどれの間かな? (変化) ・江戸時代の寺小屋、明治時代の教室、平成の教室を比べよう。「先生の教え方」は似ているか、違うか? 「子どもの学び方」は似ているか、違うか? 「教室の設備」は似ているか、違うか? (類似と差異, 比較) ・なぜ明治時代の教室では、机が綺麗に並んでいるのだろうか? これは当時の明治政府の改革や文明開化とどんな関係があるのだろうか? (相互の関連) ・なぜ寺小屋の教室では、みんなバラバラに勉強しているのだろうか? なぜ平成の教室では、みんな同じ制服 (または男女別) を着ているのだろうか? これは 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットで【資料2】「教室」の移り変わりの図や写真を見せる ・生徒のタブレット操作を支援する ・問いを Google Form に入力させる ・歴史的な見方・考え方 ・限定せずに、気になったことは遠慮せずに気軽に入力させる ・支援員の助力を得て、生徒の入力結果を大型ディスプレイ画面で眺める。結果をみながら、他の学校の生徒に紹介したい (とっておきの) 問いを3つ選ぶ。選んだ問いは、支援員と協力して Jam Board に入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の閲覧状況を確認する ・残り 30 秒のカウントダウン表示 (タイマー音は消す) ・各学級の入力結果を閲覧するための URL をチャットに貼り付ける結果の閲覧をサポートする ・ジャムボードの URL をチャットに貼り付ける。T2 の入力を支援する ・Jam Board を共有する ・指名された学級をスポットライト

	<p>当時のどんな状況と関係しているのだろう (相互の関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの時代の教室から、今の私たちはどんなことが学べるかな (現在とのつながり) 		
休憩			
<p>つづき</p> <p>○発表の省察→歴史的な見方・考え方の習得 (10)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各クラスから出された生徒の素朴な問いを、歴史的な見方・考え方の代表例に当てはめていくよ →より洗練された歴史学者の問いに置き換えていくよ 2 (代表例に当てはまる見方・考え方が示されない場合) T1 が代わりに問いを紹介するよ 3 問いで使われている見方・考え方を短い概念やモデル図で紹介しよう 4 見方・考え方を使いこなすことにはどんなメリットがあるのかな 	<ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を意識的に使うと、いろいろな問いが立てられるね 歴史がどんどん見えてくるね 	<ul style="list-style-type: none"> ・T1 が各クラスを指名→代表生徒がジャムボードに入力した問いを発表する ・T1が青いキャップをかぶっている時には歴史学者の見方・考え方にもとづいて話すことを強調する。 ・生徒やT1の問いの中でどのような歴史的な見方・考え方が使われているか、カードを使いながら、その都度確認していく (カードは黒板に貼っておく) ・T2 がカードを教室で持って回りながら、どのような見方・考え方が使われているかを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・Jam Board を共有する ・指名された学級をスポットライト ・カードの使い方を T2 にアドバイスする。必要に応じてカードを差し出す (カードは黒板に貼っておくとよい)
<p>【展開3：見方・考え方を応用する】</p> <p>○課題の提示 (15)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに学んできた地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方を意識的に働かせながら、問いをつくってみよう 2 「1万円札」の移り変わりについて説明するよ (2) 3 「1万円札」の移り変わりについて気になったことを問いに表現しよう <ol style="list-style-type: none"> ①まず個人で4個以上の問いを考えて、ワークシートに書こう (5) ②グループまたはペアで共有しよう (3) ③クラス全体で共有しよう (5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・この紙幣は、どこで印刷されているのだろうか？ (位置) 全国6か所の造幣工場 ・この紙幣は、何を原料にして作っているのだろうか？ (人間と環境の相互作用) ミツマタという植物 ・この紙幣の原料は、どこから入手しているだろうか？ (移動) 岡山県・徳島県・島根県 ・この紙幣を海外に持ち出す人は、毎年何人ぐらいいるのだろうか？ (移動) ・この紙幣が使われているのは、どんなところだろうか？ (地域) 日本、円流通圏、東アジア経済圏 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料3】「1万円札の移り変わり」を配布する (1万円札3枚：1958年開始の聖徳太子、1984年開始の福沢諭吉、2024年開始の渋沢栄一) ・ワークシートに記載されている見方・考え方の例を参考にしながら問いをつくれるように支援する ・クラス全体でどのような問いが出ているかを共有する。発表したい問いと発表者を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の閲覧状況を確認する ・ワークシートの配布を支援する ・ワークシートの記載状況を確認する →ホストに報告

<p>○見方・考え方の発表 (15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1万円札の移り変わり」から設定した問いを発表しよう。各クラス順番に1つつづ言っていくよ。最後まで発表して残ることができるのは、どこのクラスだろう →その問いは、どんな見方・考え方を使ったのかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各1万円札は、それぞれいつから使われたのだろう (時期・年代) 1958年の聖徳太子, 1984年の福沢諭吉, 2024年の渋沢栄一 ・1万円札の価値は、だんだんと上がったか？ 下がったか？ (変化) 価値は下がった ・1万円札の人物を時代別に比べよう。どこが似ているか、どこが違うか？ (類似・差異, 比較) ずっと男性・日本人, 政治家→文化人→企業人, 古代のひと→近代のひと, ・なぜ1958年に1万円札が誕生したのだろう？ 1万円札の誕生は、当時の人々の気持ちや経済成長とどのような関係があるのだろうか？ (相互の関連) ・なぜその人物が1万円札の顔に選ばれたのはなぜだろう？ 人物の選ばれ方は、その時代の出来事とどのような関係があるのだろうか？ (相互の関連) ・お札の人物や背景が変わると、私たちのくらしや気持ちに、どのような影響を与えるだろう (現代とのつながり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者をカメラの前に着席させる。TIに指名されたら、クラス順にどんどん発表させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名された学級をスポットライト
<p>【まとめ：これからの学びへ】 (10)</p> <p>1 私たちが普段の生活のなかで、地理的な見方・考え方や歴史的な見方・考え方を働かせることができるのは、どういうときだろう。今日学んだ見方・考え方をえそような場面 (現に使っている場面) について話し合い、発表しよう</p> <p>2 見方・考え方をを使うと、これまで見えていなかったことが見えてくるね！ 授業を受ける前と後では、みんなの見える世界が変わったかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやテレビで、G7のニュースをみるとき <ul style="list-style-type: none"> ・いつから始まった？ ・なぜ1973年に始まった？ ・どこの国から政治家がきている？ ・G7の参加国は、これまで増えた？ 減った？ 変わらない？ ・なぜ広島で開催なのか？ 1945年の原爆投下は、2023年のG7開催にどのような影響を与えているか？ ・なぜ宇品のプリンスホテルで会議をしたの？ ・自分の成長過程を振り返るとき、じいちゃんと昔話をするとき ・住んでいる町のようにすを他のまちの人に紹介するとき ・教科書に出ている出来事を理解するとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで3分程度意見交換し、他校の生徒にも紹介したい回答を2つ選ぶ。発表者を決める。 ・TIが各クラスを指名→代表生徒が発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名された学級をスポットライト ・最後はギャラリービューに切り替える→笑顔で交流・挨拶